

令和6年度
初任期教員研修ハンドブック

令和6年3月
岡山県総合教育センター

目 次

「初任期教員研修ハンドブック」作成に当たって	1
1 研修について	
(1) 研修の必要性	2
(2) 初任期教員に求める資質能力	3
2 確かな指導力	
(1) 学習指導	
○教育課程と指導計画	6
○授業を構想・実践する力	7
(2) 学級（HR）経営・生徒指導	
○学級（HR）経営	23
○生徒指導	24
(3) 自己研鑽	
○キャリアデザイン（自己成長のマネジメント）	30
(4) 教育課題への対応	
○教育の情報化（ICTを用いた指導法）	32
○道徳教育	34
○外国語教育（小学校における外国語活動・外国語科）	37
○特別支援教育	41
○キャリア教育	50
○現代的な健康課題	53
○人権教育	60
(5) カリキュラム・マネジメント	
○カリキュラム・マネジメント	64
3 同僚、家庭・地域とつながる力	
(1) OJT・人材育成	
○OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）	65
(2) リーダーシップとチームマネジメント	
○学校組織マネジメントと学校評価	66
○協議・発表等の進め方	67
(3) 連携・協力	
○地域との連携	69
4 基盤となる資質	
(1) 教員の基盤となる資質	70
(2) 自己申告による目標管理	87
(3) 社会人のマナー	89

初任期教員研修ハンドブック作成に当たって

急速なグローバル化や情報通信技術の進展、人口減少社会の到来、雇用環境の変化、社会のつながりの希薄化など、教育をめぐる社会情勢がめまぐるしく変化する中、児童生徒の学力向上や学習習慣の確立、不登校の解消、SNSによるいじめやトラブル、ネット依存症、運動習慣の二極化など、克服すべき様々な教育課題の解決に向け、本県は「教育県岡山の復活」を目指した施策を進めています。

平成28年3月、「岡山県公立学校教員等人材育成基本方針」を策定し、本県の学校教育を推進する教員等、一人一人の力量を高める方針を示しました。また、平成29年4月からスタートした「新晴れの国おかやま生き生きプラン」において、学ぶ力育成プログラムと知育・徳育推進プログラムに加えてグローバル人材育成プログラムを推進しています。平成29年12月には「岡山県教員等育成指標及び研修計画」を策定し、教員に求められる基礎的・基本的な資質能力を確保し、各教員の長所や個性の伸長を図っています。そして令和3年2月、「第3次岡山県教育振興基本計画」を策定し、引き続き「心豊かに、たくましく、未来を拓く」人材の育成を基本目標とした取組を、計画的かつ強力に推進しています。

このような中、初任期教員の力量向上を期して作成したのが本冊子「**初任期教員研修ハンドブック**」です。「見て分かる教員ガイド」となるよう岡山県教員等育成指標の内容ごとにページを構成しています。このハンドブックは、初任者（新規採用者）研修や3年目研修、さらには、常勤・非常勤講師の先生方にも活用いただけるよう構成しました。学校・園外での研修に加え、学校・園内における研修や先輩教員等と共に学ぶ際に活用し、自らを振り返りつつ力量を高めていくことを期待しています。

日々の学校・園での実践、校外研修での学び、本冊子等の活用を通し、確かな指導力と豊かな人間性を磨き、教員としての確固たる信念と責任感をもってともにおかやまの未来を創りましょう。

1 研修について

研修の必要性

学校教育は、一人一人の児童生徒に働きかけて、その全人的な発達を図り、次代を担う国民の育成を目指す極めて責任の重い創造的な営みである。このような教育という重要な職務に携わる教員には、当然のことながら高い資質が求められる。これに応えるために、教員は、自ら進んで絶えず研修に努めなければならない。

教員の資質能力としては、教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、児童生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、そしてそれらを基盤とした実践的な指導力が必要である。

1 研修の態様

研修には、次の三つの態様がある。

- ① 職務として行われる研修
- ② 職務専念義務を免除されて行う研修
- ③ 勤務時間外に自主的に行う研修

2 研修の心得

研修に当たっては、自分自身を見つめる厳しい目、新しいことを学ぼうとする心、よりよいものを目指すひたむきな姿勢、何をどのような方法で研究するかといった、主体的・積極的な取組が大切である。

また、管理職との対話に基づく受講奨励を踏まえ、研修の意義、内容、方法等をよく検討し、計画的・継続的に行う必要がある。

○教育基本法

(教 員)

第9条 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

○教育公務員特例法

(研 修)

第21条 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

(研修の機会)

第22条 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

2 教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

3 教育公務員は、任命権者の定めるところにより、現職のままで、長期にわたる研修を受けることができる。

(初任者研修)

第23条 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、当該教諭等（臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。）に対して、その採用（現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。附則第5条第1項において同じ。）の日から一年間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修（以下「初任者研修」という。）を実施しなければならない。

初任期教員に求める資質能力

「岡山県教員等育成指標及び研修計画」の中で、求める教員像を踏まえ、教員に求める資質能力を、「領域」「ステージごとの資質能力」「目標」の3階層で整理しています。

【教員】

キャリアステージ		初任期教員	
領域	ステージごとの資質能力	目標	
確かな指導力	●児童生徒の実態把握や授業規律を確保する力	【学習指導】 ○児童生徒の実態把握などを通して特性を理解し、学習に関する現状や課題を把握することができる。 ○課題解決型学習を取り入れるなど、主体的・対話的で深い学びの実現を意識した授業実践をすることができる。 ○「岡山型学習指導のスタンダード」「家庭学習のスタンダード」等に基づき、基礎・基本を徹底し、学習規律を確保した学習指導を実践するとともに、適切な学習評価を行うことができる。	
	●生徒指導、教育相談の基礎的スキルを身に付け、学級（HR）経営等に生かす力	【学級（HR）経営・生徒指導】 ○児童生徒との信頼関係を築き、児童生徒の規範意識と自己肯定感を育成することができる。 ○学級（HR）経営や問題行動等への対応、教育相談の手法について、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。 ○安全・安心な教育環境を確保することができる。	
	●今日的な教育課題に対応するための学び続ける力	【自己研鑽】 ○学校や市町村の現状や課題を理解するとともに、「学び続ける教員」を目指し、必要な能力を伸ばすことができる。 【今日的な教育課題への対応】 ○教育の動向を踏まえ、今日的な教育課題に取り組むことができる。 ・ICTや情報・教育データの利活用 ・道徳教育 ・外国語教育 ・特別支援教育 ・キャリア教育 ・現代的な健康課題 等 【カリキュラム・マネジメント】 ○児童生徒に求める資質能力の育成を踏まえた年間指導計画を作成し、実践・検証・改善することができる。	
求める資質能力	同僚、家庭・地域とつながる力	●管理職や同僚等からの指導・助言を受け入れたり、管理職や同僚等に報告・連絡・相談したりする力	【OJT・人材育成】 ○管理職や同僚等からの指導・助言を柔軟に受け入れるとともに、悩みや課題について相談することができる。 ○校外研修等で学んだことを同僚等に伝えることができる。 【リーダーシップとチームマネジメント】 ○管理職や同僚等に主体的に報告・連絡・相談や提案を適切に行うことにより、目標の達成に向けて効率的に職務の遂行に当たることができる。 ○チーム学校の一員として協働する中で、自ら行動するとともに他者にも働き掛け、必要に応じて支援しようとするリーダーシップを発揮して課題解決に当たることができる。
		●家庭・地域と情報共有し、信頼関係を築く力	【連携・協力】 ○家庭・地域と日常的に適切に情報を共有し、信頼関係を築いて理解・協力を得ることができる。
基盤となる資質		【使命感と情熱】 ○教育の持つ社会的役割を理解し、児童生徒の成長のために教育に携わる意欲がある。 ○児童生徒のやる気を引き出すことができる。 【誇りややりがい】 ○本気で児童生徒と関わることができ、教員としての喜びや意義を見いだしている。 【倫理観】 ○教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守している。 【教育的愛情】 ○児童生徒の健全な成長のために、教員として幅広い教養を備え、人間的魅力を高めることができる。 【省察する力】 ○多様な経験や校外での研鑽を通して、自己を見つめ直し自らの専門性やコミュニケーション能力を高めている。	

【養護教諭】

キャリアステージ		初任期教員	
領域	ステージごとの資質能力	目標	
確かな指導力	●児童生徒及び学校の実態把握をもとに保健管理や保健教育を行う力	【保健管理・健康相談】 ○児童生徒及び学校の実態に応じた保健管理を適切に実施することができる。 ・救急処置 ・健康診断 ・保健情報の収集及び分析 ・疾病の予防と管理 ・学校環境衛生 ○健康相談の基本的なプロセスを理解し、関係者と連携して、実施することができる。	
		【保健教育・保健組織活動等】 ○発達段階を踏まえた学校保健計画に基づき、児童生徒の資質能力を育成するための保健教育を専門性を生かしながら、学級担任等と連携し、実施することができる。 ○保健組織活動の意義を理解し、企画運営に参画することができる。 ○学校保健計画の作成に参画することができる。	
	●生徒指導、教育相談の基礎的スキルを身に付け、保健室経営等に生かす力	【保健室経営・生徒指導】 ○保健室来室者の対応等を通して児童生徒との信頼関係を築き、児童生徒の規範意識と自己肯定感を育成することができる。 ○問題行動等への対応、教育相談の手法について、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。 ○安全・安心な教育環境を確保することができる。 ○学校教育目標及び学校保健計画に基づいた保健室経営計画を作成することができる。	
求める資質能力	●今日的な教育課題に対応するための学び続ける力	【自己研鑽】 ○学校や市町村の現状や課題を理解するとともに、「学び続ける教員」を目指し、必要な能力を伸ばすことができる。	
		【今日的な教育課題への対応】 ○教育の動向を踏まえ、今日的な教育課題に取り組むことができる。 ・現代的な健康課題 ・特別支援教育 ・メンタルヘルス ・ICTや情報・教育データの利活用 等	
		【カリキュラム・マネジメント】 ○児童生徒に求める資質能力の育成を踏まえた年間指導計画の作成に参画し、実践・検証・改善することができる。	
同僚・家庭・地域とつながる力	●管理職や同僚等からの指導・助言を受け入れたり、管理職や同僚等に報告・連絡・相談したりする力	【OJT・人材育成】 ○管理職や同僚等からの指導・助言を柔軟に受け入れるとともに、悩みや課題について相談することができる。 ○校外研修等で学んだことを同僚等に伝えることができる。	
		【リーダーシップとチームマネジメント】 ○管理職や同僚等に主体的に報告・連絡・相談や提案を適切に行うことにより、目標の達成に向けて効率的に職務の遂行に当たることができる。 ○チーム学校の一員として協働する中で、自ら行動するとともに他者にも働き掛け、必要に応じて支援しようとするリーダーシップを発揮して課題解決に当たることができる。	
	●家庭・地域、他校や関係機関と信頼関係を築き、連携する力	【連携・協力】 ○学校の課題を把握し、家庭・地域、他校や関係機関と信頼関係を築き、必要な連携を行うことができる。	
基盤となる資質		【使命感と情熱】 ○教育の持つ社会的役割を理解し、児童生徒の成長のために教育に携わる意欲がある。 ○児童生徒のやる気を引き出すことができる。	
		【誇りややりがい】 ○本気で児童生徒と関わることができ、教員としての喜びや意義を見いだしている。	
		【倫理観】 ○教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守している。	
		【教育的愛情】 ○児童生徒の健全な成長のために、教員として幅広い教養を備え、人間的魅力を高めることができる。	
		【省察する力】 ○多様な経験や校内外での研鑽を通して、自己を見つめ直し自らの専門性やコミュニケーション能力を高めている。	

【栄養教諭】

キャリアステージ		初任期教員	
領域	ステージごとの資質能力	目標	
確かな指導力	●児童生徒の実態把握に努め、食育の推進を図る力	【食に関する指導】	○児童生徒の実態把握などを通して学校の特性を理解するとともに、食に関する必要な情報を発信することができる。 ○学校教育目標に基づいた食に関する指導の全体計画や年間指導計画を活用し、食育の推進を図ることができる。 ○専門性を生かし、発達段階に応じた食育を学級担任等と連携し、実施することができる。
	●専門的知識や技能を身に付け、給食管理に生かす力	【給食管理（栄養・衛生）】	○栄養管理の専門的知識・技能を身に付けるとともに、給食に関する課題を把握し、工夫・改善に取り組むことができる。 ○学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理を行い、安全・安心な給食づくりができる。
	●生徒指導、教育相談の基礎的スキルを身に付け、指導等に生かす力	【生徒指導】	○食に関する指導を通して児童生徒との信頼関係を築くことができる。 ○問題行動等への対応、教育相談の手法について、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。 ○安全・安心な教育環境を確保することができる。
	●今日的な教育課題に対応するための学び続ける力	【自己研鑽】 【今日的な教育課題への対応】	○学校や市町村の現状や課題を理解するとともに、「学び続ける教員」を目指し、必要な能力を伸ばすことができる。 ○教育の動向を踏まえ、今日的な教育課題に取り組むことができる。 ・現代的な健康課題 ・特別支援教育 ・食文化の継承 ・ICTや情報・教育データの利活用 等
求める資質能力	同僚、つながる力 家庭・地域と	●管理職や同僚等からの指導・助言を受け入れたり、管理職や同僚等に報告・連絡・相談したりする力	【OJT・人材育成】 【リーダーシップとチームマネジメント】
		●家庭・地域、他校や関係機関と信頼関係を築き、連携する力	【連携・協力】
基盤となる資質		【使命感と情熱】 【誇りややりがい】 【倫理観】 【教育的愛情】 【省察する力】	○教育の持つ社会的役割を理解し、児童生徒の成長のために教育に携わる意欲がある。 ○児童生徒のやる気を引き出すことができる。 ○本気で児童生徒と関わることができ、教員としての喜びや意義を見いだしている。 ○教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守している。 ○児童生徒の健全な成長のために、教員として幅広い教養を備え、人間的魅力を高めることができる。 ○多様な経験や校外外での研鑽を通して、自己を見つめ直し自らの専門性やコミュニケーション能力を高めている。